

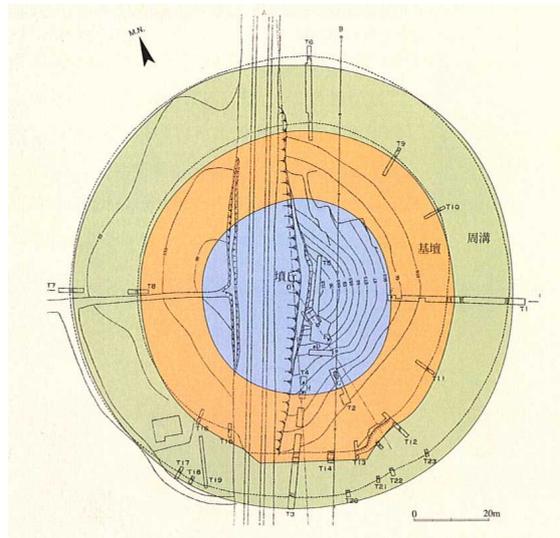
しもいしばしあたごづかこぶん  
名前：下石橋愛宕塚古墳

しもつけししもいしばし いしばしちない  
所在地：下野市下石橋（石橋地内）  
（新幹線の建設で無くなりました）

ほたてがいがたこぶん  
形：帆立貝形古墳

こぶんこうき  
時代：古墳後期（6世紀後半）

ぜんちようやく  
大きさ：全長約84m



たすう ばくろい くようもんかのみいた くようもんぎようよう すえきおおがめ はしきつきがたどき  
出土品：多数の馬具類（九曜文鏡板・九曜文杏葉など）・須恵器大甕・土師器坏形土器

こぶんないぶ よこあなしきせきしつ すえきおおがめ しゅつどじょうたい よかんけい しゅつど  
その他：古墳内部は横穴式石室です。須恵器大甕は出土状態が良くほぼ完形で出土しました。花形の杏葉が特徴です。

